

(県様式)

### スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業における規模決定根拠の考え方について

事業を活用し、事業実施主体が機械を導入する場合には、機種選定根拠(任意様式)と併せて、以下の規模決定根拠の考え方に基づき、必要台数を判断すること。

#### 規模決定根拠

導入機械・機器名	① 作業 能率	1日のほ場作業量				作業可能日数					1台当たり 作業可能 面積	導入機 械の利 用対象 面積	理論上 必要台 数
		実作業時間			⑤ 1日の ほ場 作業量	作業期間	⑥ 期間内 日数	⑦ 作業 可能 日数率	⑧ 作業 可能 日数	⑨ 作業 回数			
		② 1日の 作業時 間	③ 実作業 率	④ 1日の実 作業時間									
		(分/10a)	(時間)	(%)	(時間)	(ha/日)	(月日～月日)	(日)	(%)	(日)			
				0.0	0.00				0.0		0.0		0.00
				0.0	0.00				0.0		0.0		0.00
				0.0	0.00				0.0		0.0		0.00
				0.0	0.00				0.0		0.0		0.00
作業能率の根拠					実作業率、作業期間、作業可能日数率等の根拠								

※作業能率や実作業率等の数字は、機械のパンフレットやメーカーへの聞き取り、「機械化計画の手引き(JA全農 農業機械部発行)」等を参考に記載すること

※導入を予定している機種よりも能力が小さい機種がある場合は、参考として上記表に記載し、予定機種より能力が小さい機種では能力が不足する(理論上の必要台数が多くなる)ことを示すこと

※地域の実情等を踏まえ、上記の考え方で整理することが難しい場合には、その旨記載し、事前に相談すること